

農業の経営リスクに備えるための オンラインツール

頻発・激甚化する自然災害に対しては、まずは農業者自らができる限りの備えをすることが基本となります。山形県では、**自らリスクに備える農業者の皆様をサポート**するため、2種類の**オンラインツール**を開発し、「やまがたアグリネット」で提供しています。



経営リスク把握チェックツール

- ・ 農業経営をめぐる様々なリスク…あなたの備えは大丈夫ですか？
- ・ 自然災害が発生したとき、真っ先に何をしますか？それは家族や従業員もわかっていますか？

農業経営における安定と持続可能性は、予測不可能なリスクにどれだけうまく対処できるかにかかっています。

「経営リスク把握チェックツール」では、自然災害を中心に、農業者の皆様が自身の経営リスクを把握し、それに対する備えを確認・強化することをお手伝いします。**20の質問に「はい」「いいえ」で答えていくだけで、どれくらいリスク対策ができているか把握でき、対策の仕方も学ぶことができます。**



セーフティネット診断ツール

- ・ 収入保険または農業共済に加入していますか？
- ・ セーフティネットの負担と補償を、あなたの経営に応じてシミュレーションしてみましょう

リスクへの備えの中でも、災害にあったあとの営農継続に欠かせないのは農業保険等のセーフティネット制度です。

あなたの栽培品目や作付面積を入力することで、収入保険・農業共済（農作物・畑作物・果樹）・ナラシ対策の中から、自身の農業経営に適した制度を確認することができます。

※ あくまで簡易的なシミュレーションですので、詳細は農業共済組合等に相談してください。



経営リスク対策



Step Up!

政府では、農業者の皆さんに自然災害発生時の業務継続計画（BCP）の作成を推奨しています。農業版BCPの作成は、非常時の備えになるとともに、補助事業のポイント加算にもなります。「経営リスク把握ツール」を使ってみたら、次はBCPにチャレンジしてみましょう。



農林水産省「農業版BCP」のページ